

事務事業名	外国語教育支援事業		所属部	教育委員会	所属課	学校教育課
総合計画体系	政策名	〈IV〉ふるさとを学び育つまち〈教育・文化〉		所属G	義務教育グループ	課長名 飛田 博志
	施策名	〈26〉学校教育の充実		担当者名	志賀 崇	電話番号:0854-40-1072 (内線) 2283
	目的・対象	児童・生徒	意図	基礎基本(知・徳・体)の発達を促し、生き抜く力を身につける。		
	基本事業	〈076〉すべての子どもにわかりやすい授業づくりの推進		予算科目	0:150:0:3 0:510:4:3	大事業名 教育推進事業 中事業名 外国語教育支援事業
目的・対象	児童・生徒	意図	学習意欲が高まる。			

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
児童・生徒	生の英語に接することにより、小学生はコミュニケーション能力の素地や初歩的な英語力を、中学生は会話力・英語力を高める
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (R3 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)	小中学校すべてに外国語指導助手(ALT)及び英語指導助手(AET)を配置し、小中連携を意識した取り組みを行う。
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R3年度実績(R3年度に行った主な活動)	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)
自治体国際化協会のJETプログラムによる外国語指導助手(ALT)を小中学校12校(中学校7校・小学校5校)へ配置(株)インタラクと委託契約を結び、英語指導助手(AET)を小学校10校へ配置	小中連携を意識し、R3年度より「外国青年招致事業」と「小学校英語教育推進事業」を統合JETプログラムによる外国語指導助手(ALT)を令和4年度より全学校へ配置するよう、関係機関と調整

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R元年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(実績)	R4年度(計画)
ア 外国語指導助手(ALT)人数	人			5	6
イ 英語指導助手(AET)人数	人数			2	0
ウ					
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R3年度決算)		② コストの推移		単位	R元年度(決算)	R2年度(決算)	R3年度(決算)	R4年度(計画)
報酬	16,703千円	財源内訳	国庫支出金	千円				
旅費	744千円		県支出金	千円				
需用費	48千円		地方債	千円				
修繕費	126千円		その他	千円			10,076	
通信運搬費	9千円		一般財源	千円			17,708	22,805
手数料	33千円	事業費計		千円	0	0	27,784	22,805
委託料	10,076千円							
備品購入費	45千円							

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	全小中学校にALTまたはAETを配置し、ネイティブによる授業を展開。新型コロナウイルス感染症の拡大が続き、渡航制限が続く中、2名のALTを帰国させ、2名のALTの新規受け入れを行った。
② 事業実施するうえでの課題	さらなる小中連携を図るため、令和4年度よりJETプログラムによる外国語指導助手(ALT)への一本化を図るが、受入業務等における事務局職員への負担が増加する。
③ 課題解決に向けた改革改善等	事務局職員への負担を軽減するために、外国語指導助手(ALT)の生活サポート等を支援機関に一部委託することを検討する。